

# 事実と証拠に従う

社長さんと言う肩書で人を動かしていませんか。

知らず知らず「権威」で回りを動かしていませんか。社長が言えば、本気になつて動いてもらっていますか。「権威」で人を動かす事はできません。

権威では、いつも心から動いているのではない。ふり

をしているものです。

また業績不振の言い訳や、これを他人のせいにする責任回避や、困難に対して努力話しをされる社長さんが多いと思います。

原因が判断と実行の結果、自分にあるのに、まったく自覚されていないのです。自覚しない「無責任者」の典型であります。

これは叱責してもらえない人が周りに誰もいない査証です。

そして、事前にこれからしようとする計画の思いを語り、不安を払拭するため？話される社長さんは、実際に波に乗る傾向が多いと感じています。

さらに事象の前にお話を聞いていればと思うことが、多々あるのは誠に残念なものです。

このためには、自分自身を謙虚に律することしかあ

りません。私の不徳の至り、修行が足らないのです。

失敗の本質や行き違いを自覚せず、改善策や対策はと話を聞きます。

そもそも改善策や対策自体、本質をよく理解しないと予期しない失敗の原因になることが多いものです。

まず反省が一番。それからです。

何事も「真実は人の数ある」他人や当局が言う真実は勝手。

我々の基本は「事実と証拠に従う」原則が不変です。正道を歩けば何も恐るに足らないものです。

税務当局と過去、現在、未来に渡り真正面から対峙してます。

なにも問題はありませ



## 日本的感性・鈴木大拙

広い意味の精神においての意思は、宇宙生成の根源力であるといつてよいのであるから、それらが自分らすなわち個々の人間の上に現れるとき、心理学的意味の意志力と解せられる。この意志力が強ければ強いだけ仕事ができるということになるのだろう。

仏経にも「心を一処に制すれば事として弁ぜざるはなし」とあるが、意思とはつまり注意力に外ならぬからである。精神は注意力であるといつてよい。

東京デイズニーランドであった実話です。

ある若い夫婦がデイズニーランドへ行き、レストランに入った時の話です。そこで、若い夫婦がお子様ランチを注文したそうです。

夫婦が子供連れでなかったため不思議の思ったウエイトレスさんが聞いたところ、夫婦は自分たち子供がいたのだけれど、亡くなつてしまいました。子供を連

れてデイズニーランドに来たときは、お子様ランチを食べさせたいと思っていました。

それを聞いたウエイトレスさん

は、若い夫婦のテーブルをラフミリー用に変えて、子供用の椅子を一つ持ってきてくれたそうです。

若い夫婦は感激し、デイズニー

## ベストの工夫

ランド宛に手紙を書いたそうです。これが社内報に載り、人づてに広まった話ようです。その時々において、自分が出来るちよつとした工夫に、ベストを尽くす。

なにげないぐさや一言が、相手の心に伝わるものです。人の世は鏡の世界、言葉も笑顔も中身を写し合います。



(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年5月8日 (火) NO. 249

地域から明るい未来を作ろう